



学校だより

北門

【校訓】

誇りと責任

旭川市立北門中学校

NO. 9

平成29年12月22日

縦の糸は

校長 岡本明彦

師弟同行（師匠と弟子が、同じ行いをして諭す）という教育の基本姿勢があります。以前に問題行動に対する基本的な考え方という文書を出させていただきましたが、その中で生徒指導の基本姿勢について『生徒の心に寄り添い、心に響く指導の充実』がキーワードであると書きました。

生徒の自尊心を高めるためには、その生徒をよく理解した上で指導をしなければなりません。そのために、共感、共汗、共歓が大切であると思います。これは保護者の皆様も一緒だと思います。子どもの視線で物事を考え、共に感じ、汗を流し、共に歓ぶという教育の営みです。ただ、そこで問題になってくるのは教師の視線、保護者の視線（視点と言い直してもいいかもしれません）だと思います。

中島みゆきさんの歌に『糸』というのがありますが、縦の糸と横の糸が織りなす布がいつか誰かの傷をかばうかもしれないと歌われます。『ささくれ』というフレーズが出てきますが、思春期の子どもはよくささくれます。縦の糸は先生や保護者でしっかりした一本の糸です。横の糸は子どもたちで、つまずいたり、転んだり、曲がったり、傷ついたりします。しかし、一本の縦糸がしっかりしていれば、横糸はつなぎ直せば良い。そうすれば織りなされた布は社会で力を発揮すると思います。そのために教師と保護者が連携し、互いを信頼し協力し合うことが何よりも大切だと思います。

北門中学校では、教師と保護者の皆様の取り組みの中に **共感・共汗・共歓**する生徒・教師・保護者の姿があります。私はこれを北門中学校の大切な財産だと思っています。

親子レク(2年生)

12月5日(火)5・6校時に、2学年PTA主催の親子レクが行われました。当日は、57名の保護者の方々の参加があり、工夫を凝らした5種類のクイズとゲームで大いに盛り上がりました。お忙しい中、参加していただいた保護者の皆さん、時間をかけて準備を進めていただいた学年部の皆さん、本当にありがとうございました。

(当日のゲーム内容)

- ①○×クイズ
- ②風船割り
- ③人間ビンゴ
- ④タオルシュート
- ⑤ミニテスト



☆景品として、1人1個「プリン」がプレゼントされました。しかし、家に持ち帰ってから食べるということ条件付きでした。ある女子生徒の証言…カバンの中に入れて持ち帰ったら、揺れて「プリンジュース」になっていました。それも、よき思い出ですね！

「税についての作文」表彰式

1月30日(木)に、中学生「税についての作文」の表彰式が校長室にて行われました。このコンクールは全国納税貯蓄組合連合会と国税庁の共催によるもので、将来を担う中学生が、身近に感じた税に関する事、学校で学んだ税に関する事、テレビや新聞などで知った税の話などを題材とした作文を書くことで、税について関心を持ち、理解を深めていくという趣旨で実施されているものです。

51回目を迎えた平成29年度は旭川中税務署からは、8校(431編)の応募がありました。その中で、本校2名の生徒が入賞しました。

【旭川中税務署長賞】

3年 谷内 飛翔君「税金と言えば」

【旭川中地区納税貯蓄組合連合会会長賞】

3年 松本 蒼依さん「東京オリンピックと税金」



租税教室(3年)

12月11日(月)の2校時に、旭川中税務署から新井智貴様を講師としてお招きし、3年生を対象として「租税教室」を実施しました。この租税教室は、次代を担う生徒たちに、税金の意義や役割を正しく理解してもらいたいという趣旨で、税務署が行っている出前授業です。当日は、税金の種類や使われ方、旭川市の財政などについて、パワーポイントを使ってわかりやすく説明していただきました。生徒の感想の一部を紹介します。

・税金を納めることによって、公共サービスや支援の方に使われることになるので、収めることはとても必要なことだと思います。(男子)

・税は私たちの生活の色々な事に関与しているので、もし税金がなかったら、今まで当たり前だったことが当たり前でなくなってしまうので、税を払うことは大切なことだと思います。(女子)

・租税教室を開いていただいたおかげで、税金のことをたくさん知り、知識を大きく深めることができました。この時間は大変貴重なものになりました。(女子)



保護者の皆様へ

2学期は北門祭を始め、授業参観や進路相談・保護者懇談、また、PTA校内参観週間等、さまざまな行事や活動にお忙しい中何度も足を運んでいただきまして、誠にありがとうございました。来年も引き続き、ご支援・ご協力を宜しく願います。

年末に向けご多忙のことと存じますが、健康にお気をつけてお過ごしください。